

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野 I 基礎看護学	日常生活援助技術 I	環境を整える援助技術	1	15	1年前期	津田はづき

テキスト(発行所)	基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ(メヂカルフレンド社) 看護技術プラクティス第3版(学研)
テキスト以外の教材、参考図書	看護覚書き～本当の看護とそうでない看護～(日本看護協会出版会)

学習のねらい	人間と環境の相互関係を理解し、対象にとっての環境の意味を考え、環境を整える看護技術を習得する。
学習目標	1. 人間と環境の相互関係について理解する。 2. 生活環境を整える意義を理解する。 3. 療養環境を構成しているものについての知識と環境を整えるための基礎的技術を身に付ける。 4. 療養環境をアセスメントできる能力を身につける。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態
1回	看護において環境を整える意義	1. 環境の概念 2. 人間と環境の関連性 3. 看護において環境を整えるということ	講義
2回	療養生活における環境 ・病院の環境と病室内の環境	1. 入院における生活環境の変化 2. 病院の構造、病室の種類 3. 病室の環境条件 4. 病床とは ベッド周囲の物品や設備と使用 5. 空気の清浄、明るさ、室内気候、清潔性、臭い 6. 生活空間と人間関係、プライバシー	講義
3回	療養生活における環境 ・病床と病床周囲の環境	1. ベッド(種類、高さ、構造) 2. 寝具(種類、求められる条件) 3. ベッド、ベッド周囲の快適性とは 4. ベッドの構造、寝具の種類と特徴 5. 環境整備の方法、	講義
4回	病床環境を整える援助技術 ・環境整備とベッドメイキングの準備	1. 各種寝具のたたみ方 2. ベッドメイキングを行うための準備・身支度、必要物品  *1	講義 デモスト
5回	環境を整える援助技術 ・ベッドメイキングの実際	1. ベッドメイキングのデモスト 2. ベッドメイキングの実施  *2	デモスト 演習
6回	病床環境を整える援助技術 ・臥床患者のシーツ	1. 臥床患者のシーツ交換デモスト 2. 臥床患者のシーツ交換の実施	デモスト 演習
7回	療養環境のアセスメントと援助方法	1. 事例に応じた援助方法 2. 環境のまとめ	講義

\*1: 5回目講義までに、シーツのたたみ方の練習をしておくこと

\*2: 6回目講義までに、ベッドメイキングの練習をしておき、クローズドベッドが作成できること

<b>単位認定の方法</b>	1. 15時間のうち、12時間以上の出席 2. 評価の割合 1)筆記試験50点 2)実技試験30点 3)パフォーマンス課題20点 1)～3)合わせて60点以上 3. 1かつ2の条件を満たして、環境を整える援助技術の単位を1単位認定する。
<b>受講上のアドバイス</b>	「自然治癒力を高めるための手段の一つとして、環境を整えることが看護実践において重要である」F.ナイチンゲールは『看護覚え書き』で記しています。人間と環境は双方が分離できない一体であり、このような視点に立った看護援助は、セルフケアを促す技術として実際の看護場面や状況の中で様々に行われています。人間と環境の相互関係について理解し、環境を整える意義について自分自身の考えが表現できることを目指します。また、環境を整える技術を身につけるためにしっかり練習を重ねてください。(実技の試験あります)